

学校管理下のラグビー死亡事故 全事例

【事故発生年度：1983年度～2011年度(29年分)】

最終更新日 2012年8月18日

作成者 内田 良 (名古屋大学大学院教育発達科学研究科 准教授)
 ウェブサイト「学校リスク研究所」 http://www.geocities.jp/riris_presents/

以下の事例は、学校管理下における柔道の活動中に発生した「死亡」の事故事例です。次の点に留意してください。

- ①事例は、(独)日本スポーツ振興センターがほぼ毎年発行している『学校の管理下の死亡・障害事例と事故防止の留意点』から抽出したものです。ただし最新の情報については、新聞等のメディアから拾い出しています。
- ②「事故発生年度」というのは、厳密にいうと、(独)日本スポーツ振興センターから「死亡見舞金」が支払われた年度です。したがって、死亡見舞金の支払いが年度をまたぐ場合(たとえば、事故発生は12月で、死亡が翌年の5月の場合)には、「事故発生年度」は、実際に事故が発生した年度と一致しないことになります。
- ③「学年」は事故発生時点の学年です。
- ④「死因」や「事故の概要」は、(独)日本スポーツ振興センターの報告をそのまま引用したものです。したがって、事故後の裁判等のなかで争われたこと、あるいは明らかにされたこととは、内容が異なる場合があります。そうした点については、この資料最下部に、適宜情報を掲載するというかたちで対応させていただきます。
- ⑤いわゆる「事件」性の高い事例として解釈されている件についても、ここではすべて用語上「事故」としています。

■更新メモ■

<2012年8月18日>

全事例一覧表を公開しました。

事例ID	『死亡・障害事例』年度 <～年版>	事故発生年度	学年	性	授業 (保健 体育) / 部活動	死因	事故の概要	試合時の 事故	ラグビー固有の 動作に起因する事故		熱中 症
									動作	損傷 部位	
r001	1985 (昭和60)	1983 (昭和58)	高1	男	部活	熱射病	〔熱射病〕 当日は、夏休み最後の練習日であった。本生徒は、8月5日から行われた今回の練習には参加していなかったが、当日初めて参加した。本生徒は、練習計画に従い他の部員と同じく練習をこなした。練習は午前11時30分から10分間の休憩をとって午後1時40分まで行われた。この日正午の気温は36.5度、湿度43%で午後1時30分2人一組のタックルを最後に100mの軽いジョギング、整理体操をして練習を終えた。午後1時40分頃1、2年生全員でグラウンド整地を始めたが、本生徒は、用具置場に進みそのまま校庭の端に設置したバリケードに突き当たり、よろけるようにコンクリートの仮設自転車置場にあおむけに倒れ、失神した。直ちに水で頭を冷やし、救急車で病院に移送し、手当てを受けたが6日後に死亡した。				○
r002			高3	男	部活	大量消化管出血、 頸髄損傷	〔試合中、下敷きとなる〕 当日本生徒は、全国高等学校ラグビーフットボール大会地区代表決定戦に出場していた。試合開始後まもなく両軍フォワードがモールを形成した。本生徒は、モールのポイントへ両側よりバックされ、突進してのめって倒れる状態になった。その後、モールがラックになり、本生徒は下敷きとなり、ラックを解いたときに一番下に倒れていて動けなくなった。絶対安静にして救急車で病院へ移送、そのときは意識があり、治療を受けて経過は良好であったが、25日容態が急変し、26日午前7時死亡した。	○	モール ・ラック	頸部	

r003	1986 (昭和61)	1984 (昭和59)	高1	男	部活	脳挫傷	[タックルの際頭部から当たり倒れる] ラグビー部はグラウンドに集合後、ロードワークを行い、他生徒が帰校するのを待って、3時15分からフラインディング(相手に当たりシュートパス)を約15分、スマザータックル(相手を抱え込み倒す)を約15分、次に生タックル(下半身に当たり相手を倒す)の練習に入り、1対1のタックルの際、本生徒は相手の腰部(腸骨部)に頭部をぶつけ、後向きにグラウンドに倒れ込み意識不明となった。直ちに養護教諭が応急処置を行い、救急車で移送し入院、処置を受けたが意識回復せず、21日夜転医、翌日死亡した。		タックル	頭部	
r004			高2	男	部活	急性心不全症	ラインアウトの移動練習中				
r005	1987 (昭和62)	1985 (昭和60)	高1	男	部活	急性硬膜下血腫	[前方回転トライをして頭部を打つ] 練習中、本生徒はヘッドギアは着用していたもののタックルされた際、転倒し地面で頭部を打ったため、すぐ練習を中止させ安静にさせる。顧問には「大丈夫」と言っていたが、必ず病院に行って報告に来るように指示し、帰宅させる。翌日の午後、本生徒から「大学病院へ行き医師に異常なし(問診による)と言われた」との報告を受ける。そして2日後に始まる合宿のための届承諾書と合宿一週間前の健康チェック表を提出する(チェック表には、8月1日;吐き気(日射病)、食欲不振、8月2日;吐き気(日射病)頭部を打つ、7月29日、30、31、8月3日;異常なし)。合宿(生徒44名、教諭2名、OB)が始まり、1日目は練習に参加、2日目、午前中は出番がなく見学したが、午後の練習でランニングパスの際、嘔吐し、「しんどい」と顧問に申し出、終了まで休息。3日目午前中は練習に参加、午後には出番なく試合見学、4日目となり午前中の練習に参加。午後部活は休み。午後5時30分、本生徒から顧問に「しんどいです、熱がある」と申し出があった。体温38.5℃もあり、解熱剤を飲ませ安静にさせる。5日目熱は下がったが、大事をとり安静にさせる。6日目練習に参加し、終わりの7日目の午前中の練習にも参加したが、打ち上げ練習の際、タックルダミーにタックルし、パスされたボールをキャッチし5m走り、前方回転トライをするが、このとき頭を打ったようで、しばらくして頭痛を訴え嘔吐した。休んでいたが、40分後容態が悪化し、救急車で、病院に収容、手術するが死亡した。		タックルを受け転倒、前方回転トライ	頭部	
r006	1988 (昭和63)	1986 (昭和61)	高2	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー部活動として高校総体ラグビーに出場中、相手校ボールで、ボールを持って走る選手にタックルをしたとき、頭が相手の腰付近に当たった。直ちに病院へ移送、自力呼吸停止のまま、半月後死亡した。	○	タックル	頭部	
r007			高2	男	部活	溺死	ラグビー部活動終了後、プールフェンスの破れからプールに潜り、水中ラグビーに熱中していた。本人のいないことに気付くが、部室に戻ったと思いゲームを続行、その後水底に沈んでいるのを発見した。				
r008			高1	男	部活	急性心不全	ラグビー部活動時、運動場で練習中、フォワードとしてラインアウト、ラック、モール、スクラム練習を約1時間行ったら、全員による走り込み(ランニングパス5往復、距離75m前後)の3往復半終了後、突然足がもつれ倒れた。病院へ移送したが、間もなく死亡した。				
r009			高2	男	部活	急性心不全	ラグビー部活動時、運動場でランニング(ラグビーコート3周750m)、体操、ストレッチング3本を行い、パスワーク(半サイド)の練習を7~8本目(片道15~20m)をゆっくり走っていたところ、グラウンド中央で足から崩れるように倒れた。病院へ移送したが、間もなく死亡した。				
r010	1989 (平成1)	1987 (昭和62)	高2	男	部活	播種性血管内凝固症候群、肺出血	ラグビー部活動時、当日はむし暑い日であった。午前中各練習内容を消化し午後の練習中、突然膝を地面について倒れた。部長とコーチが声をかけたが脈拍も早く、呼吸も荒く発汗も激しかったので頭を冷やし着衣をゆるめ、救急車で移送したが、意識の回復のないまま死亡した。				○
r011	1990 (平成2)	1988 (昭和63)	高1	男	部活	脳挫傷	ラグビー部の合宿中の練習試合で、相手チームの選手にタックルに入ったさい、相手の膝が右側頭部に当たってしまい、一度起きようとしたが前のめりに倒れ、意識不明となった。全く反応を示さない状態となり救急車で救命救急センターへ移送したが、6日後に死亡。	○	タックル	頭部	
r012			高1	男	部活	脳挫傷	ラグビー部の合宿での他校との練習試合で、疾走して来る相手の腰上部に対し正面からタックルを決め、その後30秒ほどゲームに参加していたが、倒れ意識を失った。救急車で、村の診療所へ運び応急処置を施し、医師も同乗のもと病院に移送。即死に近い状態であったと診断された。	○	タックル	頭部	
r013			高3	男	部活	上部消化管出血	ラグビー部の合宿における練習試合で、スクラムのさい相手チームに押されスクラムが崩れ、ナンバーエイトをしていた本生徒はあおむけに倒れ、更に数人の者が覆いかぶさった。本生徒は立ち上がれず、意識はあるが首から下の感覚がなく、救急車で病院へ移送された。第四頸椎脱臼、頸髄損傷で頸より下がまひ。13日後に死亡。	○	スクラム	頸部	

r014			高1	男	部活	突然死 [急性心不全の疑]	ラグビー部活動時、250メートルトラックを1周40～45秒でタイムランニングを行い、本生徒は3周を走り終えたところで2～3歩よろけるようにして倒れた。救急車で病院へ移送したが死亡していた。				
r015			高3	男	部活	急性心不全	ラグビー部の合宿で、7キロメートルほどのロードワーク中、6キロメートルほどの地点で突然止まり、顧問が声をかけたところ、再び走り出したが5メートルほど行ったところでフェンスに突っ込んで転倒、意識不明。応急処置を行い、救急車で病院へ移送したが死亡。[解剖所見]胸腺リンパ体質				
r016			高3	男	部活	急性心停止	ラグビー部の練習試合、突然不自然な体勢で倒れ、こん睡状態となり救急車で病院へ移送したが死亡。	○			
r017	1991 (平成3)	1989 (平成1)	高3	男	部活	頸髄損傷	全国ラグビーフットボール県大会の試合中、相手ボールスクラムが組まれ、スクラムが右へ回ったところで相手が左側サイドへ攻撃をしかけたので、本生徒がタックルに入りラック状態になった。ボールの出ないだんご状態になりレフェリーの笛で中断、順次プレーヤーが起き上がったが、本生徒は顔面右を下に倒れたままであった。意識ははっきりしているが両腕両脚が動かないと訴えるので、頭部、首を固定し救急車で病院へ移送したが、15日後死亡した。	○	タックル ・ラック	頭部	
r018			高2	男	部活	心筋梗塞、 その原因、 単冠動脈	ラグビー部の活動中、顧問教師のもとで練習を行い、おのこの練習を終え整理体操に入ったとたんにあおむけに倒れ、ひきつけを起こし呼吸停止となったので、人工呼吸、心臓マッサージを行い、救急車で病院へ移送したが死亡した。[解剖所見]単冠動脈、心筋線維化、肺水腫。組織検査:心筋線維化及び出血、肺胞内出血				
r019	1992 (平成4)	1990 (平成2)	高1	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー部活動時の試合中、本生徒がタックルに行ったさい、相手の膝が、頭部に当たったようで、試合終了後頭痛を訴え、顧問が涼しい日陰へ連れて行き様子を見ていたところ、容態が悪化していくので、救急車で病院へ移送したが翌日死亡した。	○	タックル	頭部	
r020			高2	男	部活	頸髄損傷による 呼吸不全	ラグビー部活動時、スクラムに入るとき、相手のスクラムの体重が本生徒の右首にかかり負傷。その場で動かさずに救急車で病院へ移送したが、2か月後死亡した。		スクラム	頭部	
r021			高2	男	部活	頭蓋内損傷の疑い	ラグビー部活動時、練習を柔道場で行い、スマザータックルからの攻防練習中・アタッカーの本生徒は、タックルされた相手の胸に肩で当たり、上体をつかまえられ倒されたとき、後頸部を畳に打ちつけた。「痛い」と言いながら立ち、指示された所で座り、頭を押さえていたがやがて静かになり、額を畳につけるぐらい屈み込んでおり、声を掛けしたが返事がなく、口から大量のよだれのようなものを出していたので、応急処置を行い救急車で病院へ移送したが、3日後死亡した。		タックルを 受け転倒	頭部	
r022			高3	男	部活	頸髄損傷、 第1・2・3頸椎骨折	ラグビー部活動時の試合中、スクラムのさい、本生徒が遅れぎみに組みに行き、相手と頭同士が当たり、本生徒はその場に崩れ落ち動かなくなった。	○	スクラム	頭部	
r023			高2	男	部活	熱中症による 多臓器不全	ラグビー部の合宿(7泊8日)最終日、午前練習を始めて1時間30分経過したころ、足元がフラフラしてグラウンドに倒れ呼吸が荒くなったので、過呼吸と判断し応急処置を行うが良くならないので、診療所に受診、施設がないので転医したが死亡した。				○
r024	1993 (平成5)	1991 (平成3)	高2	男	部活	クモ膜下出血	ラグビー部の活動中、当たりとポイントづくりの練習をしていて、パスをつないでボールを受け取りダミーに頭から突っ込み勢いよく転倒した。更に5分ほど練習を続けたところで耳鳴りと気分不良を訴え、水道で頭部を冷やし部室前で、仰臥安静が安静にしてたところ意識不明となり、救急車で病院へ移送、さらに転院し、一時は快方に向かったが25日後に死亡した。		ダミーへの 突っ込み後 に転倒	頭部	
r025			高3	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー部の練習中、タックルの練習で、タックルをしたところ相手生徒の右腰付近で強打し仰向けに倒れた。意識がなく、顔や手足にけいれんを起こしいびきもかきだしたので、救急車で病院へ移送したが死亡した。		タックル	頭部	
r026			高1	男	部活	溺水による 蘇生後脳症	ラグビー部の練習を海岸の砂浜で行った。汗と砂で体が汚れ、暑いこともあって部員20名とOB1名が海に入った。ところが、間もなく本生徒が沖へ流されているのに気づき、OBが救助し人工呼吸を行い救急車で病院へ移送したが3日後に死亡した。				
r027			高1	男	部活	急性循環器不全	ラグビー部の練習で、5キロメートルのランニング、上り坂のダッシュのあと、6種類の運動をサーキットレーニングとして2セットの予定で開始して、1セットが終わったところで力が抜けるように倒れた。[解剖所見](1)出血傾向、(2)諸臓器うっ血、(3)脂肪肝、(4)脾腫				
r028			高1	男	部活	熱射病	ラグビー部の練習中、足がふらつきだしたので休ませ、水を与え、体にも掛けさせて座らせ、脈、呼吸にも異常なく話をしていたが、意識が薄れていき目もうつろになってきたので救急車で病院へ移送した。				○

r029			高1	男	部活	高度熱射病	ラグビー部の合宿4日目に、体操の後ランニングパス20本を始めた。17本目あたりから遅れだし座り込んだ。呼吸が苦しそうなので診療所に運び、点滴、酸素吸入を受けながら病院へ転送され、更に転院したが死亡した。				○
r030	1994 (平成6)	1992 (平成4)	高2	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー一部活動時、他校の運動場で行われた公式試合中、相手のオープン攻撃に対しタックルに行った本生徒は、相手選手との強い当たりとなり、倒れて頭部を打った。メディカルサポーター及び担当医の判断で場外に移し診断をした。初めは正常に反応していたが、おう吐し応答も鈍ったので、救急車で病院へ移送し、手術を受けたが6日後に死亡した。	○	タックル	頭部	
r031			高1	男	部活	急性硬膜下血腫	運動場でラグビー一部の練習試合を20分ハーフで5分の休憩を取りながら3回行った。その後のミーティング中に本生徒は苦しいと訴えて倒れ、けいれんを起したため、救急車で病院へ移送し手術を受けたが死亡した。	○	不明	頭部	
r032			高1	男	部活	急性心不全	ラグビー一部活動時、雨天のためグラウンド使用不能のため、各自の体力に合わせたジョギング程度のランニングを廊下と階段で行っていたところ、顧問に運動(特にランニング)を禁止されていた本生徒も、他の部員に辞めるように声を掛けられたが一緒に始めたところ、約5分後倒れた。救急車で病院へ移送したが死亡した。〔既往症〕心室性期外収縮、心拡大3E禁				
r033	1995 (平成7)	1993 (平成5)	高2	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー一部の練習中、本生徒は、タックルをして相手とともに転倒したとき、右側頭部を打った。直後に頭痛を訴え、その場に寝かせたが意識不明となった。救急車で病院へ移送、治療を受けたが、翌日死亡した。なお、練習は、全員がヘッドギアをつけて行っていた。		タックル	頭部	
r034			高3	男	部活	脳挫傷、その原因、急性硬膜下血腫	ラグビー一部の公式戦の試合中、本生徒は、タックルを受けて転倒しグラウンドで頭部を強く打った。一度は立ち上がったが数歩歩いて倒れ意識不明となった。救急車で病院へ移送、治療を受けたが翌日死亡した。	○	タックル	頭部	
r035			高1	男	部活	急性心不全	ラグビー一部の練習試合で、後半10分程度経過したところ、本生徒は、自分のポジションに戻ろうとして振り向いたとたん倒れ、意識不明となった。救急車で病院に移送したが死亡した。〔解剖所見〕両肺高度うっ血水腫、脾腫、肝やや腫大、胃内容空虚、腹腔臓器のうっ血、脳腫大やや柔軟、血液暗赤色流動性	○			
r036	1996 (平成8)	1994 (平成6)	高2	男	部活	左急性硬膜下血腫、脳挫傷	ラグビー一部活動時、運動場で他校との練習試合中、相手プレイヤーが落ちたボールを拾いに行った際、本生徒も3～4メートル走ってそのボールを拾いに行きタックルした。その時、右側頭部が相手の腰骨に接触し転倒した。パイルアップ状態となりプレーを中断し、両側2人の介助でグラウンド外に出て横臥位で安静にさせたが、容体が悪化したため救急車で病院へ運び治療したが3日後に死亡した。	○	タックル	頭部	
r037	1997 (平成9)	1995 (平成7)	高2	男	部活	多臓器不全、その原因、汎発性血管内凝固症候群、その原因、熱中症	夏期休業中、ラグビー一部活動で県外合同練習の際、本生徒は、他校チームとの25分ハーフ試合に参加、その後日陰で20分ほど休憩、ミーティング、更衣、給水などを済ませ、次の試合まで2時間以上あるので30分のランニング練習に入った。60メートルグループ走の途中、指導教師が本生徒の顔色が悪いのに気付く、中止を指示、日陰に横にさせたが吐き気が続くため、救急車を要請、病院に搬送し治療が行われたが、翌日夜死亡した。	○			○
r038	1998 (平成10)	1996 (平成8)	高3	男	部活	頭蓋内損傷	ラグビー一部活動時、他校のグラウンドでの練習試合中、試合が始まり10分経過したところ、本生徒はラインアウトの最後尾にいてボールの流れにそってディフェンスのコースを走っていたが、相手より少し遅れて頭を下げながら右肩よりタックルに入ったところ、そのまま一人で倒れるようにバランスが崩れ右側に傾きながら右側頭部より倒れ、やや硬めの地面に右側頭部を強打した。救急車で病院へ搬送し頭部の出血除去の手術を行い治療を続けたが、発生から6日後に死亡した。	○	タックル	頭部	
r039			高2	男	部活	急性心不全	ラグビー一部活動の県総合体育大会時、相手チームのトライ直後、味方のインゴールに引き上げる途中に崩れ落ちるように倒れた。応急処置をして直ちに病院へ搬送したが、意識不明のまま翌日早朝に死亡した。	○			
r040			高3	男	部活	心不全	ラグビー一部活動の練習終了後、クールダウンを目的に顧問教諭の指導のもとプールで遊泳を行った。準備運動後プールに入り遊泳を開始し、スタート台から潜水し25メートルをターンし50メートルを泳ぎゴールし、いったん水面に浮かび上がるのを他部員が目撃した。その後ゴール地点で頭を上下させながら回転するような姿勢でプールサイドへ移動し、プールの底でうつ伏せになり潜水しているように見えた。あまりに長い潜水だったので顧問の指示で引き上げたところ異常な状態だったので、心肺蘇生を行い救急車で病院へ搬送したが死亡した。				

r041	2000 (平成12)	1998 (平成10)	高2	男	部活	心筋梗塞	ラグビー部活動の合宿の朝練習時、グラウンドで馬跳びをしながら1周し、その後、ゆっくりとした速さでもう一周した。さらにグラウンドを3周するよう指示があり、本生徒は3周目で突然倒れた。直ちに教諭が本生徒のところにいき、様子を見ていて意識が薄れ、脈も弱くなったため、人工呼吸と心臓マッサージを行い、直ちに救急車で病院に搬送したが、死亡した。				
r042			高3	男	部活	熱中症	ラグビー部活動時、グラウンドでランニングをしていた。その後、水分補給をかねて休憩し、前日の指導の内容を復習しながら各自練習していた。本生徒の様子が変なので練習を打ち切り、副キャプテンと帰るように指示したが、様子がさらに悪化し、自力では座れない状態になったため、救急車を要請した。救急車が来る間、日陰で横になり、頭、足を氷水で冷やし病院に搬送し治療を受けたが、3日後に死亡した。				○
r043	2001 (平成13)	1999 または 2000 (平成11 または 12)	中1	男	部活	熱射病	本生徒は、ラグビー部の練習に参加中、ランニングパス・キックダッシュ・ハンドリングなどの練習を行った。その間、チーム全体に集中しない状況が見受けられたので、3回キックダッシュを行った。本生徒は、1、2本目のときから歩くより少々速い程度の走りであり、3本目のときは、少し遅れてスタートし、コース中央付近で足の痛みを訴え、ゴール後、よろけて他の生徒にしがみつ、膝をついて倒れ、仰向けの格好になった。その後、練習場所へ移動し長座させた時の本生徒の様子は「あーあー、うーうー」というような息づかいの状態であった。このため、本生徒に冷茶を口に含ませ、身体を冷やすよう他の生徒に水場に連れて行かせた。その時、仰向けになっている本生徒の様子がおかしいことに気付き、保健室に運んだ。そこでは、うなり声のような呼吸に変わり、瞳孔が開いた状態だったため、直ちに救急車で病院に搬送した。搬送後、原因がはっきりしないため転院したが、翌日死亡した。				○
r044			高3	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビーボール部の他校との練習試合中、本生徒がタックルに行ったが間に合わず、相手選手に振り切られ回転して転倒した。その際、後頭部を地面に打って鼻血を出し、グラウンド脇で止血のために休んでいたが、しばらくして意識を喪失した。その後、嘔吐したため、グラウンドにいた医師による気道確保、現場近くの医師らによる点滴が施され、搬送された病院で手術が行われたが、意識が戻らないまま2週間後に死亡した。	○	タックル	頭部	
r045	2004 (平成16)	2002 (平成14)	高2	男	部活	急性硬膜下血腫	ラグビー部活動でラックの練習中、本生徒が受け手になっている時、他部員の正面からの強いあたりを受けて、頭部を先に後方へ倒れ、地面で側頭部を強打して意識を失った。直ちに救急車の出動を要請し、到着を待った。その間も、意識を回復させようと名前を呼んだり、看護教諭によって呼吸の確保等救急対応がとられていた。その後、搬送先の病院で急性硬膜下血腫と診断され、90日後に急性硬膜下血腫のため死亡した。		ラック	頭部	
r046			高2	男	部活	急性呼吸不全	ラグビー部の強化合宿2日目の当日、午前中の練習を終え、昼食を取った後、練習試合に参加した。試合開始2分40秒、自陣22m付近ラックから、相手選手のサイド攻撃に本生徒がタックルに入り、そのまま押しつぶされるような状態で後方に転倒した。その際、頭、頸部を打撲した。そのときの容態は、下半身を動かすことができなかったが、上半身は動かさず意識もはっきりしており、頸椎損傷を疑い、救急車を要請し、病院に搬送した。入院治療を受け、順調に回復していたが、発生から8日後に容態が急変し、急性呼吸不全となり、同日死亡が確認された。	○	タックル	頭部	
r047	2004 (平成16)	2003 (平成15)	高1	男	部活	急性硬膜下血腫	本生徒は、ラグビー部の練習試合に参加していた。相手チームの攻撃の際、本生徒のマークする選手がボールを受けたが、本生徒が間合いを詰めたため、相手選手は本生徒にコンタクトに行った。相手選手と接触したときに、本生徒は右肩部分で相手の右足にタックルしたが、反動で後方に倒れ、その際、地面で頭部を打った。事故発生後、本生徒は、意識不明で、断続的に身体が硬直し、いびきをかき始めたため、顧問教諭が応急手当を行うとともに、救急車を要請した。観戦していた母親とともに救急車で医療機関に搬送され、すぐに手術を受け、その後も集中治療室で治療を受けたが、発生の翌日に死亡した。	○	タックル	頭部	
r048	2006 (平成18)	2005 (平成17)	高2	男	部活	その他	県選抜Aチームと他県選抜Aチームのラグビー練習試合中、味方チームにパスをしたところへ相手プレーヤーに胸の辺りにタックルを受け、そのまま左側面から倒れ、「肩が痛い」と言った後、呼吸停止となる。	○	タックルを受け転倒	胸部	
r049			高3	男	部活	頭部外傷	ラグビー部活動で、試合中、相手選手にタックルを行った際、相手選手の左腰骨に本生徒の右側頭部が激突した。	○	タックル	頭部	
r050			高3	男	部活	頭部外傷	ラグビー部合宿中での試合の際、ボールをキャッチした相手が直進後ステップを踏んだため、タックルに入ったとき、頭部右側が相手の骨盤に激突しその場で倒れた。直ちにトレーナーが駆け寄り、意識確認を行い問いかけに反応はあったが、グラウンドから連れ出す途中で意識がなくなった。	○	タックル	頭部	

r051	2007 (平成19)	2006 (平成18)	高2	男	部活	心臓系 突然死	ラグビー部活動中、公園内をランニングしていたところ、本生徒が突然倒れた。救急車で病院に搬送したが、死亡した。				
r052	2008 (平成20)	2007 (平成19)	高3	男	部活	熱中症	強化練習最終日の最後の練習メニューで4人1組で行う1時間ランニングバスのラスト2往復の往路で、足元がふらつきだしたので、折り返しのゴールラインにいた顧問が止めに入ろうと近づく。その最中、パスを受けようとしたが失敗し、大きくふらついた。顧問教諭と後から加わった2人で本生徒を日陰に連れて行き、グラウンドの柵にもたれさせた。このとき、腕等には発汗が確認された。頭と首に水をかけ、水を飲ませようとしたが、一口飲んだ程度で、すぐに水で首とわきの下を冷やすが座った状態で意識を失った。救急車で病院に搬送したが後日死亡した。				○
r053	2009 (平成21)	2008 (平成20)	高1	男	部活	中枢神経系 突然死	夏季休業中の活動中、雨のため、校舎内のランニン(約2km)などを行った後、体育館でタッチフットの練習(約10分)、その後のランニングバスをしているとき、嘔吐と頭痛を訴えたので休養させ様子を見ていた。頭痛がひどくなり、起きあがることも言葉を出さず表情がなくなってきたため、救急車を呼び病院に搬送したが、後日死亡した。				
r054			高1	男	部活	心臓系 突然死	通常の練習メニューを終え、ロードワークに出かけた。約6kmのランニングを終え、ゴールする直前に下を向き、疲れた様子でゴールした後、座って休んでいた。その時点では意識はあり会話を交わしていたが、次第にうめくような声を発し突発的に身体を動かさずような動作が見られ、やがて瞬きもなくなり、意識を失った。				
r055	2010 (平成22)	2009 (平成21)	高3	男	部活	頭部外傷 脳幹損傷	大会予選に右プロップとして出場して後半10分過ぎラック状になった後、本生徒が倒れており痙攣して立ち上がることが出来ない為、救急車を要請し病院に搬送され、緊急手術を受けたが翌日死亡した。 [補足情報:『朝日新聞』埼玉県版2009年11月7日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 全国高校ラグビー県大会準々決勝の試合中において、後半戦開始6分後に、相手選手とボールを奪い合った際、倒れて意識を失った。病院に運ばれたが、3日後に死亡した。(2009年11月発生)	○	ラック	頭部	
r056	『朝日新聞』 2011年9月		高3	男	部活	熱中症	[[『朝日新聞』2011年9月11日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 市立高校3年生でラグビー部員の男子生徒(18)が練習中に倒れたと、同校から119番通報があった。同生徒は搬送先の病院で死亡した。警察によると、熱中症の可能性があるという。气象台によると、10日の市の最高気温は34.5度だった。練習は午前9時ごろ開始。同生徒は午後0時20分ごろ、グラウンドで300メートルダッシュをする練習をしていた時にふらつき始めたという。同校は全国高校ラグビー大会の強豪校。(2011年9月発生)				○
r057	『朝日新聞』 2011年9月		高2	男	部活	頭部外傷	[[『朝日新聞』群馬県版2011年9月19日付(朝刊)等の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 県立高校のラグビー部の2年生男子部員が、器具を使ったタックルの練習中に頭を強く打ち、数日後に死亡していたことが分かった。関係者によると、救急車で病院に搬送され、治療を受けたが回復しなかった。当時、顧問の教師が現場で指導していたという。(2011年9月発生)		タックル	頭部	
r058	『朝日新聞』 2012年7月		高2	男	部活	熱中症	[[『朝日新聞』山形県版2012年7月30日付(朝刊)の記事内容から個人情報を取り除いて編集] 県立高校2年の男子ラグビー部員が練習中に熱中症とみられる症状で倒れ、搬送先の病院で2日後に亡くなった。生徒は午前9時半からの練習に参加。市内の坂道でダッシュをしていた同10時50分ごろ、顧問の教諭が生徒の顔色が悪いことに気付き、水と氷で体を冷やし、同11時すぎに救急車を呼んだという。生徒は搬送先の病院で意識不明になっていた。同日の山形市の最高気温は35.1度だった。(2012年7月発生)				○
合計 58件								計24件 (41.4%)	頭部 計22件(37.9%) 頸部 計6件(10.3%) 胸部 計1件(1.7%) 計29件 (50.0%)	計11件 (19.0%)	